



カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー (CHhom) 入学にあたって

1. ハーネマンの原点、ホメオパシー医学の基礎作り

- ・カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー (CHhom) では、真のホメオパシー医学を身につけるために、ハーネマンの原理を原典から、「ハーネマンが真に何を言いたかったのか」しっかりと学びます。
- ・ハーネマンの原理をドイツ語の原文から忠実に日本語に翻訳したオルガノン第6版、慢性病論、純粹マテリアメディカ、小論集等を学びます。
- ・読んだだけでは理解が難しいオルガノン、慢性病論の解釈について、“ハーネマンの研究で最先端を走り、20年近くの臨床経験を持つ“由井ホメオパシー医学博士が直接、または監修した内容で教えます。
- ・ハーネマン自身が編集した純粹マテリアメディカの見方も学べます。
- ・ハーネマンの第一の愛弟子ボーニングハウゼンがハーネマンの実績を忠実に反映したレポーター「TBR」を教材として学べます。
- ・ハーネマン研究では世界最先端のオランダのエワルト・ストットラー氏、カナダのルディー・バースパー氏、オーストラリアのジョージ・ディミトリアディス氏等の海外講師の研究、実践を取り入れ教えます。
- ・ハーネマン以降の200年間を通して、ハーネマンの原典の誤訳や、後世のホメオパスであるケントなどの誤った解釈を基にした内容が広まっています。このことが、ホメオパシー医学発展の停滞の要因となり、ホメオパスの治癒率の低下にもつながっていると思われます。その意味からもハーネマンの原典に戻り、学ぶということは大切であり必要不可欠です。
- ・由井学長のもと、ホメオパシーの土台となるハーネマンの基本原則、マテリアメディカなどをこれほど、忠実に、深く学ぶことができる学校は世界で類をみません。

2. 解剖・生理・病理

- ・ホメオパスは、人の心と体、そして、魂まで扱う責任ある仕事です。インドなどでは、5年制の大学のカリキュラムの中で、解剖・生理・病理学の基礎もしっかりと学び、卒業後は現代医学の医師と同等のホメオパシー医と見なされ、ホメオパスが主体となる病院もあります。
- ・CHhom では、日本で今後、ホメオパスに求められる高いスキルや資質のニーズに応えるため、解剖・生理・病理学の基礎をしっかり学ぶとともに、ホメオパシー医学の観点を加え東洋医学、人智医学などの見方も含め学びます。
- ・解剖・生理・病理を学ぶことは、将来、ホメオパシーが国の医療の中でも認められ、その枠組みの中で責任を持った役割を果たしていくためにも必要不可欠です。

3. 学ぶ姿勢(柔軟性と忍耐)

- ・ハーネマンの基本原則、マテリアメディカを習得するには、本や文献をじっくりと読み込み、自主的・主体的に学ぶことが大切です。
- ・くりかえし、予習、復習を行うことにより、ハーネマンが真に何を伝えようとしていたのか、真髄を探求し、ホメオパスの基本、考え方をしっかりと身につけることができます。
- ・授業でわからないことに遭遇した場合でも、安易に質問してすぐに外から答えを得ようとするのではなく、自分の中で疑問に向き合いじっくりと気長に取り組んでいくという姿勢が大切です。忍耐を持ち、一生かけてホメオパシーを学んでゆくという心構えが大事です。
- ・ホメオパシー医学は、現代西洋医学とは異なった学問体系であるため、これまで習ってきた価値観と違う知識や考え方を、まずは受け入れるだけの柔軟性や謙虚さが必要となります。まず、自分の知識や考え方を脇に置いておいて、ホメオパシーの研究、実践で先輩となる講師の言葉に耳を傾け、吸収しようという謙虚な態度が学びを促進します。
- ・私たちが、学んできたやり方と違う手法をとっている講師についても、学ぶことがあれば、まず、講義を聞き、実験、検証をして、よりよいものであれば、取り入れ、さらに良いものにしていくという態度が大切です。
- ・新しい考え方に出逢った時に過去を否定するのではなく、これまでのRAHの基礎に立脚し、大きな流れを理解し、学びを積み上げるというバランス感覚を持った態度が求められます。



4. ホメオパスの資質を養う

- ・ホメオパスという職業では、自己の人間的な成長なくして、クライアントの方々をしっかりと見ていくことはできません。自分と違う意見や見識に出会っても相手を受け入れていく姿勢或いは訓練も必要です。
- ・クライアントの言葉を偏見を持たずに聞き、実験、体験の事実をしっかりと見ていくこと、さらには、心を諫め、自己の感情にふりまわされないようにしていくことも大切です。
- ・インナーチャイルドは、人とのコミュニケーション、人間関係、自分の見方、人の見方や自己実現、病気など社会生活を営む上で、大きな影響を及ぼします。人は誰しも、インナーチャイルドを抱えています。ご自分自身のインナーチャイルドが癒えていないと人生の数々の障害を乗り越えて行くことが困難になるばかりか、自己成長ができずにとどまってしまう。
- ・インナーチャイルド癒しを自発的に行っていくことは大切です。すべての原因は外になく内にあります。ゆえに自分を見つめること（内観）も大事です。
- ・CHhom に入学した際より、講師を「師」として敬い、師から学ぶという態度で接し、自分を含め、他の人も大事にしていくということがホメオパスを目指す方々にとって最も大切な心構えです。
- ・ホメオパスを目指す方は、日々、自分自身の体を整え、鍛え、心を磨いていく必要があります。
- ・CHhom では、授業の学びの一環として、心を浄化し、場を浄化するために毎日、祝詞、般若心経を行っていきます。（祝詞、般若心経は、宗教として行っているものではありません。）
- ・卒業式等で海外からのホメオパス、お客様を迎えるイベントなど、日本の国歌としての「君が代」を斉唱する機会が四季折々にあります。

参考)「ホメオパスの資質」ハーネマンより

○ハーネマンの「慢性病論」から

「私は何のためにこの世にいるのかといえば、自分ができる限り、よりよくなるためであり、私の力が及ぶ限り、周囲をよりよくするためである。」

○ハーネマンの「オルガン」§ 83より

ホメオパスは、「偏見にとらわれずに健全な分別をもつこと、細心の注意を払い、誠実であること。」

○ハーネマンの「オルガン」§ 98より

ホメオパスは「特別の熟慮、用心深さ、人間に対する観察力、慎重さ、そして忍耐強さが高い水準で要求される。」

5. ホメオパシー健康相談

- ・ホメオパスを目指す方々は、健康相談会にて、将来、クライアントの方を見ることとなりますので、自らクライアントとして健康相談にかかり、体験することが、とても大切です。
- ・自分自身のインナーチャイルドを癒していくためにも、健康相談会にかかられることをお勧めします。

6. 守秘義務及び情報管理

- ・CHhom のカリキュラム上、及び教材等から知りえたクライアント、ホメオパス情報については、いっさい外部に漏らさないことを守っていただきます。
- ・CHhom 及び RAH の講義の録音、録画することを含め、無断で CHhom 及び RAH 著作物を転用、複写、配布、貸与、譲渡することを禁止します。
- ・eラーニング等の講義において自宅でパソコン等を使用する機会もありますので、第三者への情報漏えい及びパソコンのウィルス対策を含めた情報管理にも十分ご注意願います。

7. その他

- ・カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー (CHhom) では、ホメオパシーを日本に普及していくために、努力していく方及び協力していく方を募集します。



CHhom ホメオパシーeラーニングコース入学希望の皆様へ

主な留意事項を以下に示します。

1. eラーニングコースの特徴と適性

特徴

- ・自宅にいながら自分の都合の良い時間に合わせて学べる eラーニングは、遠方の方や忙しい方にとって、移動時間なしに時間を有効に使って学べる最適のシステムです。
- ・お互いにコミュニケーションをとって、相互に刺激しあったり、情報共有する環境はなく、あくまでも一人でしっかりと学んでいく必要があります。

適性

- ・eラーニングコースのみで学ばれる方は、通学のコースとは違って、決まった日程に授業があるわけではなく、個人で計画をたてて時間管理をしていくことが必要です。
- ・eラーニングが合う方は、一人で計画をたてて、こつこつと行い、定められた視聴期間内に完了できる方、物事を後回しにしないでやり遂げることが重要です。
ご自身の適性にあっているかどうかご考慮の上、コース選択のご参考としてください。

2. eラーニング環境の準備

- ①パソコン及びインターネット対応の回線が必要です
(推奨 OS:Windows 7 以上、Mac、OS 等、 推奨ブラウザ:Google Chrome 等)
- ②音声を聴くために外付けスピーカーまたはヘッドホンが必要です。
- ③プリンター(授業の配布資料等を印刷するため)。お持ちでない方はご用意をお願いします。

3. 祝詞、般若心経

- ・CHhom では授業の学びの一環として、心を浄化し、場を浄化するために毎日、祝詞、般若心経を行っています。
- ・eラーニングコースの方も1日単位(3h授業2回)の最初には、毎回、由井名誉学長の祝詞、般若心経の唱和の映像と音声追加されていますので、自宅等でいっしょに声を出してご唱和をお願いします。

4. 授業の出席、試験実施

- ・eラーニングコースの授業の出席は、1日単位(3h授業2回)の授業視聴修了ごとにレポート(感想等)を提出していただき、その提出をもって一日出席したこととみなします。
- ・講義毎に Web 小テストを行って頂きます。
- ・試験は年間1回予定しており 集合の授業の際にあわせて試験を行います。

5. 卒業証書

- ・CHhom では、下記の条件がそろった場合に、プロフェッショナルホメオパスとしての実力があると認め、卒業レベルに達したと判断し、卒業証書を発行します。
 - ①必修科目の全単位取得
 - ②卒業試験にてC以上の成績を取得(卒業試験のある科目)
 - ③ケーススタディ100 ケース相当以上
- ・①②及び③の「ケーススタディ100 ケース相当以上」の完了をもって卒業レベルに達したと見なし、卒業証書を発行します。
- ・日本ホメオパシー協会(JPHMA)では認定校 CHhom の卒業証書を有する者に JPHMA 認定ホメオパス受験資格を与えています。

以上の内容をよく読んだ上、CHhom に入学をお考えの方には、これから CHhom の学生として、上記の考え方、方針にそって、本当に学んでいくお気持ちがあるかどうかを、別紙の「ホメオパシーを学ぶ人の心構え」の同意書で確認していただきます。また、「e-ラーニングコース受講誓約書」にご署名、捺印の上、提出下さいますようお願いいたします。